

OBRIGADA PORTUGAL

Oita Japan Portugal Association

セレソン・ダ
ス・キナスと
は、ポルトガ
ル代表の愛称

「オブリガダ」とは、ポルトガル語で「ありがとう」(女性が言う場合)の意味です

セレソン・ダス・キナスがワールドカップ出場！



(後列一番右上がクリスティアーノ・ロナウド選手)

4年に1度の祭典、サッカーワールドカップが開幕しました。われらがポルトガル代表は、前回のロシア大会では優勝を期待されながらベスト16止まりでした。カタール大会では、どうでしょうか。簡単にサッカーポルトガル代表について説明していきます。

ポルトガル代表で有名な選手といえば、言わずと知れたエース、クリスティアーノ・ロナウド！その存在はポルトガルのみならず世界中の注目を集めています。今回は、自身5度目のワールドカ

ップに挑み、史上初の5大会連続得点をマークしています。

ポルトガル代表の最高成績は1966年イングランド大会の3位。ここ最近では2006年ドイツ大会で、準決勝でジダン擁するフランス代表に負け、3位決定戦で開催国ドイツに負けた4位がよい成績となっています。

今回のチームはクリスティアーノ・ロナウド以外にも世界最高峰であるプレミアリーグで活躍している選手が6人。メッシやネイマールなどが所属する世界トップレベルのパリ＝サンジェルマンで活躍している選手が3人と非常にレベルが高く、各ポジションに若手からベテランまでバランスよく配置されているのが特徴で、ポルトガル史上最高のチームともいわれています。

12月7日にスイス代表を破り、ベスト8に進出しました。これまで破れなかった準決勝の壁を破り、悲願の初優勝を果たすのか、ポルトガル代表に注目です。Vamos Portugal!

グループH 試合結果

対戦国	結果
対 ガーナ	3 - 2 でポルトガル勝利
対 ウルグアイ	2 - 0 でポルトガル勝利
対 韓国	1 - 2 で韓国勝利

決勝トーナメント

対戦国	結果
対 スイス	6 - 1 でポルトガル勝利
対 モロッコ	12/11 午前0時キックオフ

(画像出典元：FPF)



2022年
12月発行



大分日本ポルトガル協会

■事務局
大分市企画部国際課
■TEL / FAX
097-537-5719 / 097-536-4044

■住所
〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
■Eメール
kokusai@city.oita.oita.jp

ポルトガルと日本をつなぐ金平糖の話

みなさん一度は食べたことのある、見た目がかわいくて、甘くて口に入れると幸せになれる金平糖。日本の伝統的な和菓子の一つである金平糖がポルトガルに由来があることはご存じでしょうか。今回は、そんなポルトガルと日本をつなぐ金平糖の話をしていきます。

まず、金平糖の歴史からお話すると、諸説ありますが、室町時代の1541年、豊後国領内、今の臼杵港にポルトガル船が漂着して以来、南蛮菓子の一つとして日本に入ってきました。

ポルトガルの宣教師で『日本史』を記したことで有名なルイス・フロイスが織田信長に面会した際の献上品の一つに金平糖があったと伝わっています。当時は、金平糖の製法は部外秘であり、貴重品扱いされていました。江戸時代に入ると庶民の間にも広まり、主に贈答用の高級菓子として用いられました。その後、明治30年に大阪の砂糖商、村上辰三郎が考案した「金米糖製造機」により、量産が可能になり、身近なお菓子になっていきました。

ところで、金平糖って星形の不思議な形をしています。どのように作られるか知っていますか？金平糖の原料はほとんど砂糖水です。最初に「ドラ」と呼ばれる斜めに傾いた、回転する大きな釜に、芯となるグラニュー糖を入れ、砂糖3・水1の比率の砂糖水を振りかけては乾かして、という作業を繰り返し、少しずつ大きくしていき、10日ほど続けるとみなさんご存じの形が完成します。

現在では、さらに進化し、様々な色や味のバラエティ豊かな金平糖が登場しています。ワイン味など大人向けの金平糖もありますので、W杯、ポルトガル代表を応援しながら楽しんでみてください。

(画像提供元：SEKAI NO OYATSU)

「ポルトガル便り」(抜粋)



2022年3月、新しい駐日ポルトガル大使として、ヴィットル・セレーノ駐日ポルトガル大使が着任されました。セレーノ大使が日本での公務にあたるうえで掲げるビジョンについて、Esquire (エスクァイア日本版)で特集されています。ぜひ、QRコードから該当ページをご一読ください。



Vol.73
2022年7月

編集後記

今回の「オブリガード」はいかがでしたでしょうか。

コロナ禍、会員の皆様には、「ポルトガル」に思いを馳せていただこうと、今回は、サッカーや金平糖というポルトガルに関する記事を掲載いたしました。また、来年は日本ポルトガル交流480周年を迎える年です。

さらに、大分市では、アベイロ市との姉妹都市交流45周年を迎えます。交流50周年という節目に向けて、機運の醸成を図ってまいります。

事務局では、これからもポルトガルを知り、親しんでいただける情報を発信していきたいと思っております。

★大分日本ポルトガル協会事務局★